

みずほCustomer Desk Report 2018/10/29号(As of 2018/10/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.44
TKY 9:00AM	112.36	1.1375	127.82	GBP/USD	1.2819
SYD-NY High	112.44	1.1421	127.87	AUD/USD	0.7105
SYD-NY Low	111.38	1.1336	126.64		0.7021
NY 5:00 PM	111.89	1.1405	127.60		0.7087
NY DOW	24,688.31	▲ 296.24	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,167.21	▲ 151.12	日本10年債	0.1100	0.00bp
S&P	2,658.69	▲ 46.88	米国2年債	2.8083	▲ 4.24bp
日経平均	21,184.60	▲ 84.13	米国5年債	2.9080	▲ 5.93bp
TOPIX	1,596.01	▲ 4.91	米国10年債	3.0765	▲ 4.88bp
シカゴ日経先物	21,280.00	▲ 310.00	独10年債	0.3555	▲ 4.15bp
ロンドンFT	6,939.56	▲ 64.54	英10年債	1.3845	▲ 5.65bp
DAX	11,200.62	▲ 106.50	豪10年債	2.5900	▲ 2.50bp
ハンセン指数	24,717.63	▲ 276.83	USDJPY 1M Vol	7.41	0.61%
上海総合	2,598.85	▲ 4.95	USDJPY 3M Vol	7.60	0.35%
NY金	1,235.80	3.40	USDJPY 6M Vol	7.99	0.25%
WTI	67.59	0.26	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	195.51	0.72	EURJPY 3M Vol	9.43	0.13%
ドルインデックス	96.36	▲ 0.32	EURJPY 6M Vol	9.80	0.15%

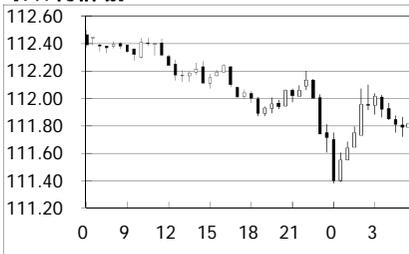
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月26日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q 3.5%	3.3%
	21:30	米 個人消費	3Q 4.0%	3.3%
	21:30	米 7PCE(前期比)	3Q 1.6%	1.8%
23:00	欧	ドラギECB総裁 講演	「中銀の独立性重要」	
23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	10月 98.6	99.0
23:15	欧	クレーECB専務理事 講演	「ガイダンス変更で出口戦略円滑化も」	

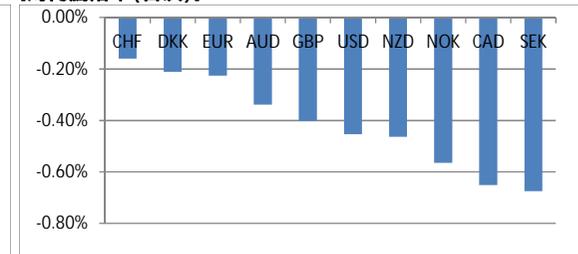
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月29日	21:30	米 個人所得/個人支出	9月 0.4%/0.4%	0.3%/0.3%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	9月 0.1%/2%	0.1%/2.2%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	9月 0.1%/2.0%	0.0%/2.0%
	22:45	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.30	1.1350-1.1450	127.00-128.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外時間でのドル円相場は軟調な展開。欧州時間から米金利が低下し、ドル円も112円割れ。米国時間に入ると、失望を誘う米国企業決算を受けてS&P500種株価指数が、一時、9月に付けた過去最高値から10%下げたことから、全般的にドル売りの展開となり、ドル円相場も一時、111円40銭近辺まで下落。その後は米株価が持ち直し112円台に戻るも、結局は111円台で先週の取引を終えることとなった。今週は米雇用統計なども控えており、また来週には米中間選挙も予定されていることから、イベント通過までは方向感の出づらいつ展開を想定する。

東京	東京時間のドル円は112.36レベルでオープン。一時112.44まで上昇する局面もあったが、前日比プラス圏で推移していた日経平均株価がマイナス圏まで沈む動きとなるとドル円もじり安推移となった。前日の米株式市場取引終了後に発表された企業決算が冴えない結果となったことから米株先物市場が軟調推移となったこともあり、リスクオフの円買いが進み一時112.07まで下落。小幅に水準を戻し112.19レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.19レベルでオープン。前日引け後の米IT系大手決算を嫌気して9月先物が下落し、欧州株も軟調地合い。人民元が2008年以來10年ぶりの安値圏で推移する中、米中貿易戦争が過熱した第3Q・米GDP(速報値)の発表を午後控え、リスク回避の円買いが進展。111.87まで下げた後は、若干戻し112.02レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1374レベルでオープン。前日のECB理事会を経て、OIS市場が織り込む2019年9月の利上げ確率が5割を割り込んだことや、米格付大手がイアアの格付けを引き下げるとの思惑が重石となり、ユーロは軟調地合いに終始。1.1336に低下し、1.1337レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は112.02レベルでNYオープン。朝方発表の米第3Q・GDP速報値が市場予想を上回ったことから112.16まで上昇。しかし、前日発表の米IT大手決算が市場予想を下回ったことが意識され、9月平均が500ドル超下落したことから反落。その後、前日安値を下抜け、ストップを巻き込みながら一時111.38まで下落。しかし、9月平均が130ドル安まで戻す動きを受けて、朝方の下げを解消し112.10まで上昇。その後再び米株が下落する中、上値は重く111.73までじりじり下落。週末を控える中、終盤は111.80近辺で小動きとなり、小幅に値を戻し111.89レベルでクロスした。ユーロドルは1.1337レベルでNYオープン。朝方は海外時間のユーロ売りが一服し、ボジション整理の買いも見られる中上昇。その後、米金利低下を背景にドル売りが加わり1.141台を回復し、1.1413をつける。その後、利益確定売りも見られたことから1.1393まで反落。終盤はドル売り優勢の中、1.1421まで高値を更新し、結局、1.1405レベルでクロス。
<p>当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。</p>	

担当: 福田・森谷